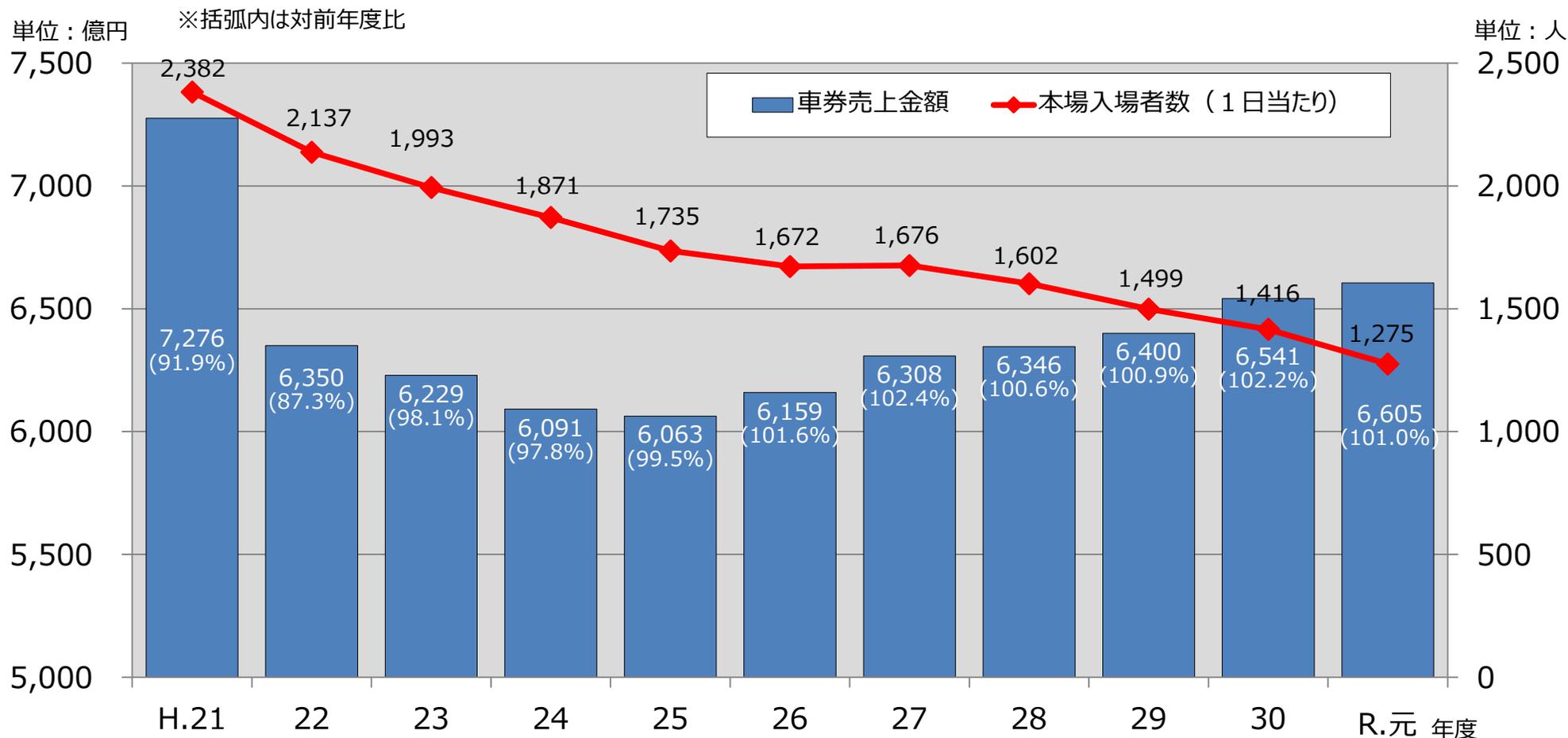


競輪・オートレースを巡る 最近の状況について

令和2年6月15日
経済産業省製造産業局
車両室

1. 競輪の売上・本場入場者数の推移

- 競輪の令和元年度の売上は、6,605億円となっている。増加の主な要因は、引き続きインターネット投票の増加。
- 一方、競輪場（本場）の入場者数は減少を続けており、令和元年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、本年2月27日から無観客での開催により更に減少幅が膨らんだ。

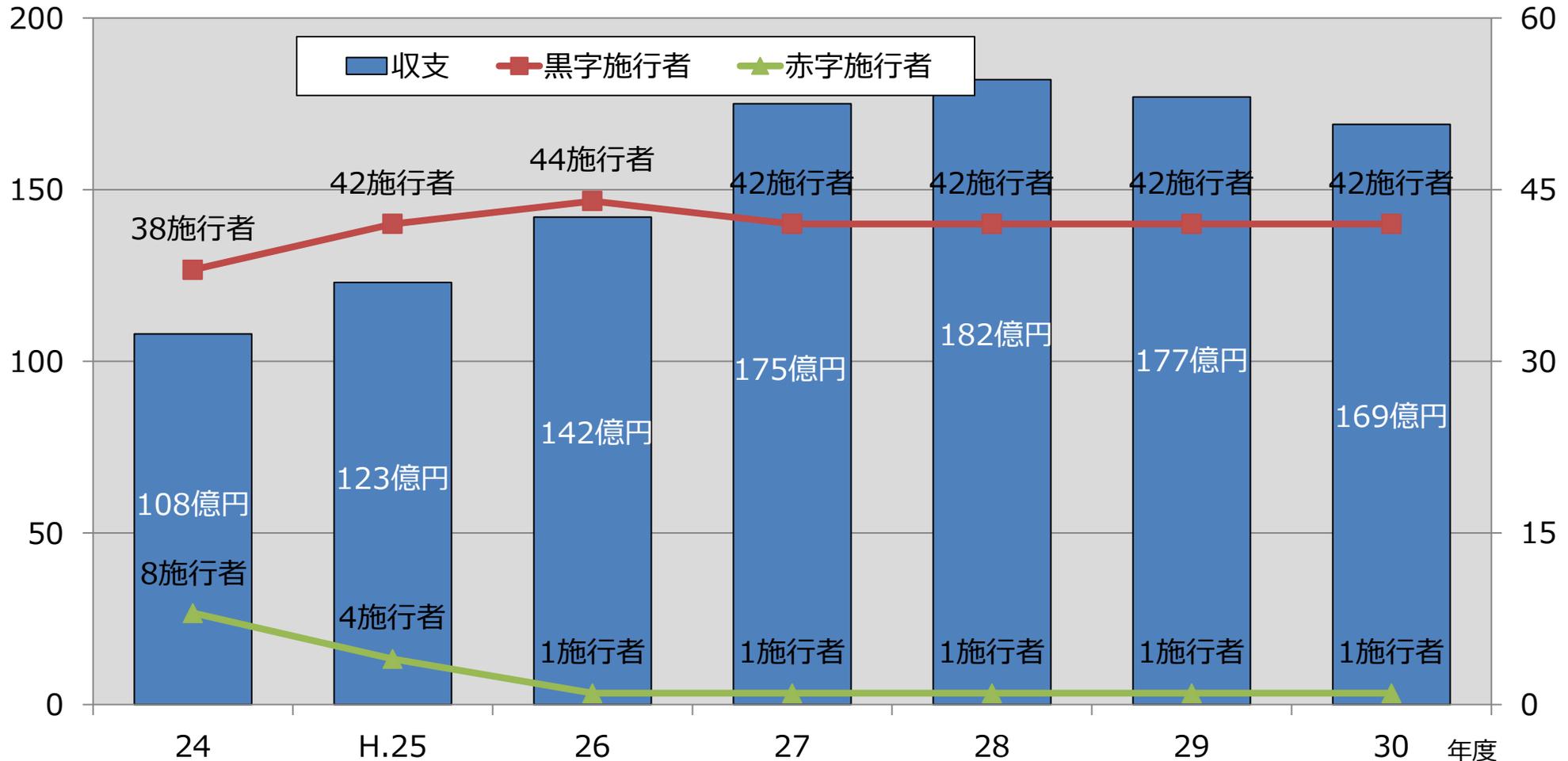


2. 競輪施行者の営業活動収支①

- 競輪施行者全体の営業活動収支は24年度以降は28年度までは増加傾向であったが、29年度以降はやや減少傾向。赤字は1施行者まで減少。
(※) この間、25年度に1施行者、26年度に2施行者が事業撤退。

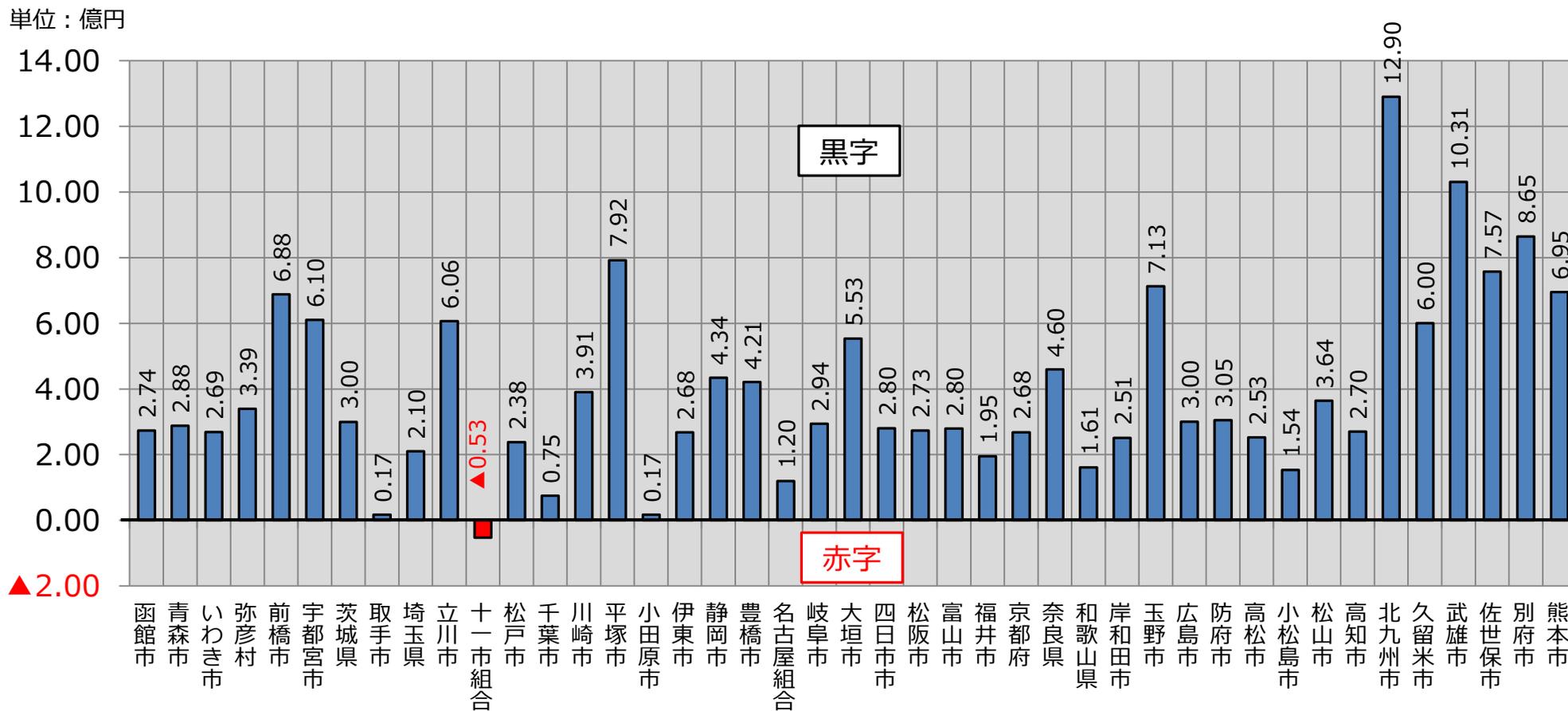
単位：億円

単位：施行者数



2. 競輪施行者の営業活動収支②

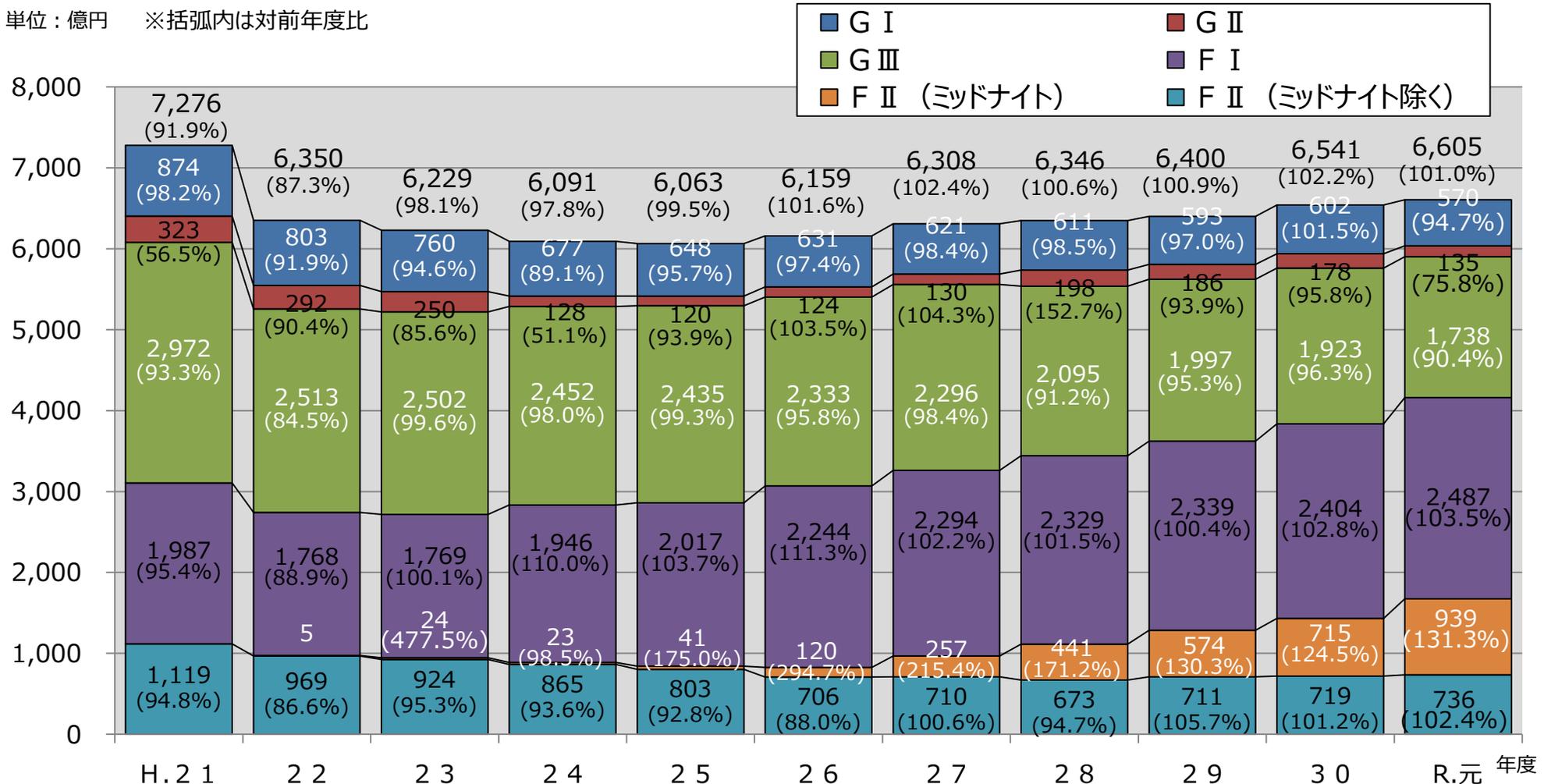
- 30年度は、43施行者のうち、赤字は1施行者（29年度も赤字は1施行者）。
- 赤字施行者の減少要因は、昼間のFⅡ開催の日数削減とミッドナイト競輪の日数増加等。



3. 競輪のグレード別売上構成の推移

- ランクの高い選手が出場するグレードレースの売上は、横ばい又は減少傾向。
- 一方、ランクの低い選手が出場する普通レースの売上は、増加基調。

単位：億円 ※括弧内は対前年度比

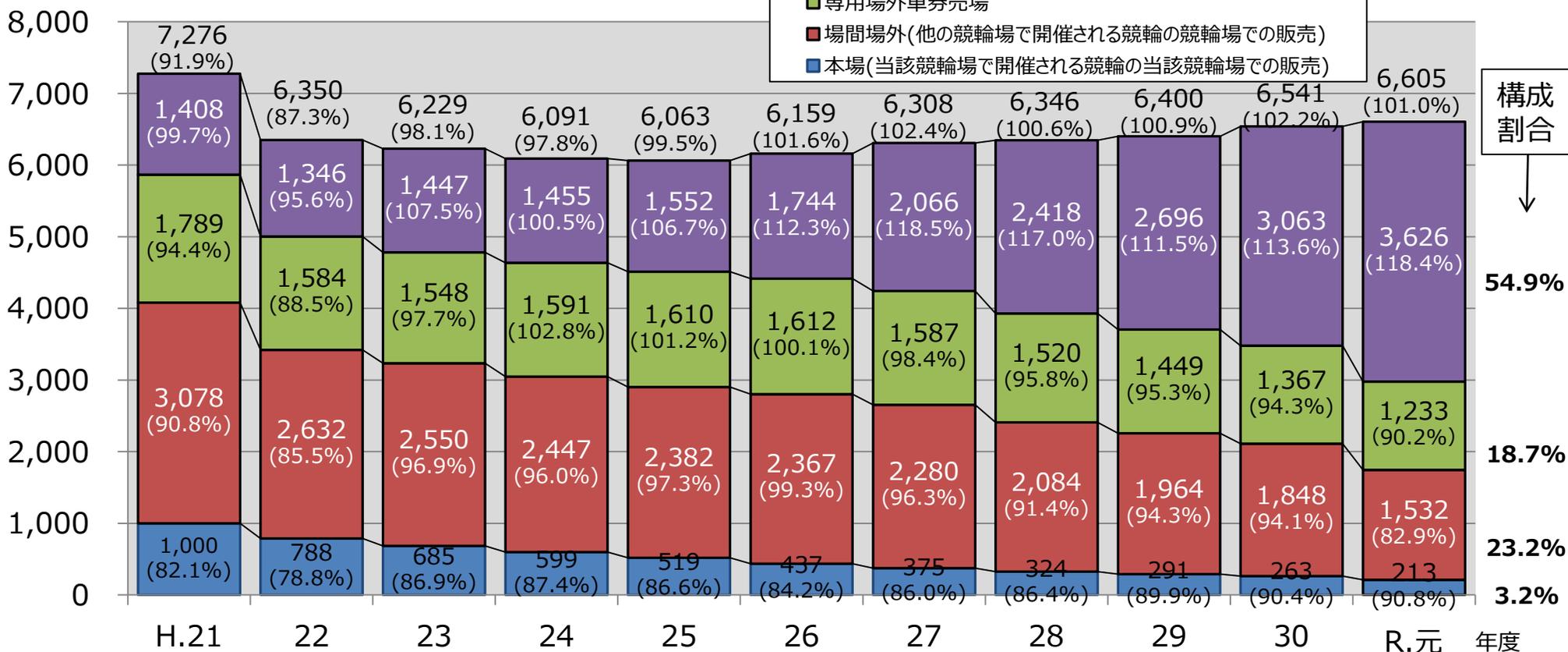


出所：各種資料を基に製造産業局車両室作成

4. 競輪の売上の販路別構成の推移

- インターネット投票（電話投票を含む）は平成23年度以降増加傾向。
- 新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、本年2月27日より、車券発売をインターネット・電話投票に限定（本年5月31日まで）。
- 本年6月1日以降、同感染症予防対策の整った場外車券発売所等から順次発売。

単位：億円 ※括弧内は対前年度比



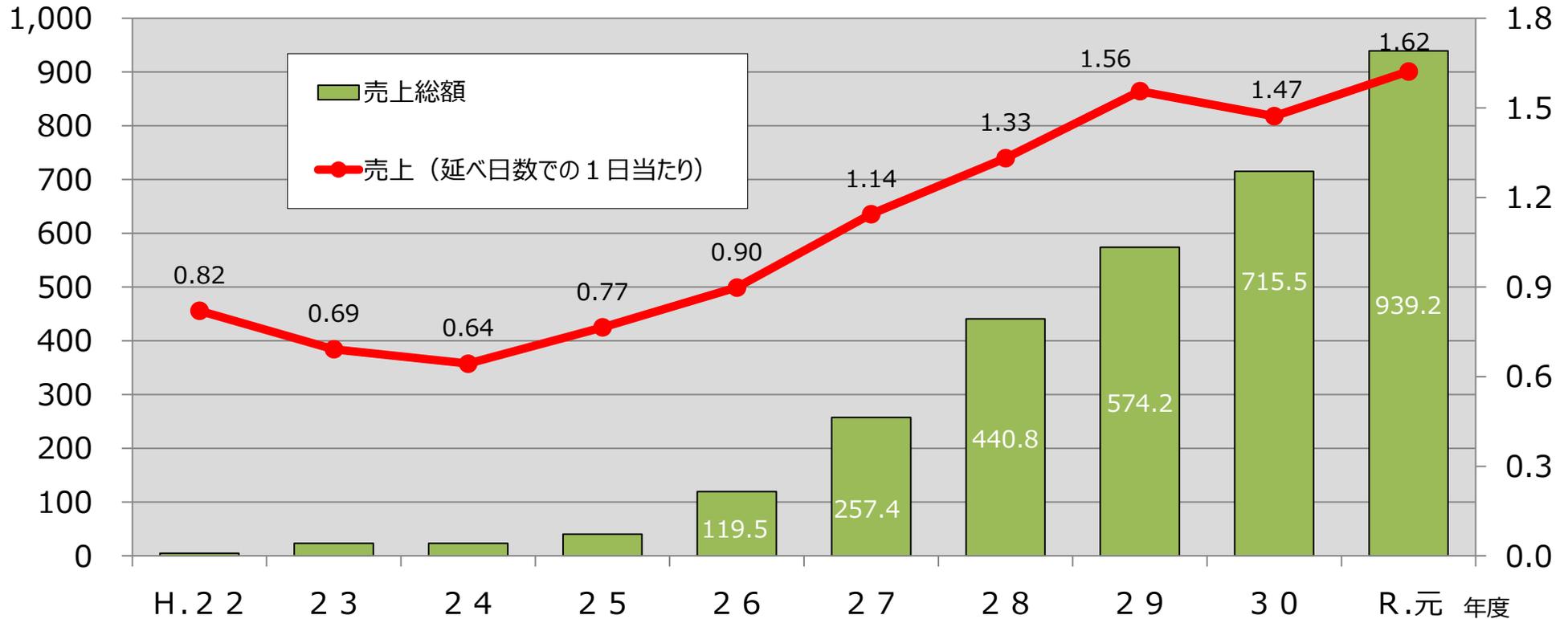
5. ミッドナイト競輪の売上推移

- 令和元年度は、36施行者が年579日（前年度比約19%増）開催し、売上は約939億円（前年度比約31%増）。

（※）開催日数は延べ日数

単位：億円／年

単位：億円／日



出所：各種資料を基に経済産業省製造産業局車両室作成

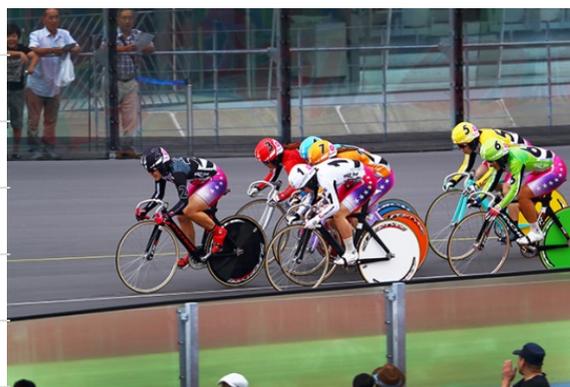
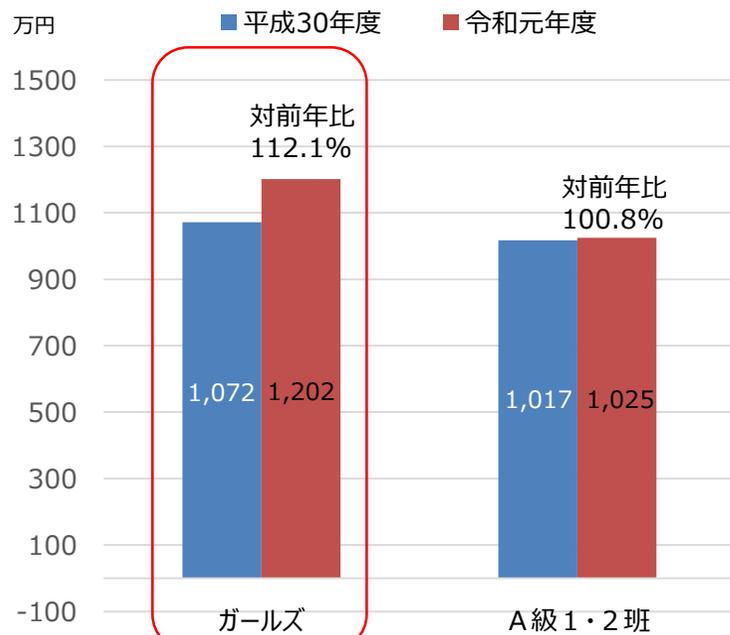
6. ガールズケイリン

- 平成24年にスタートしたガールズケイリンは、国際競技ルールに準拠しているため、男子に比べてスポーツ性が高いことや7車立てレースで新規顧客にも理解しやすいといった特徴がある。
- 近年、ガールズ選手の魅力を伝えるプロモーションやレースの開催を拡大していることから、人気も高まり、売上も増加してきている。

年度	平成24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
ガールズ開催場	11	29	36	39	40	40	41	41
ガールズ選手数	33	51	69	83	98	109	119	153

(注) ガールズ選手数については、年度末在籍者数。

F IIの1R平均売上比較 (ミッドナイト除く)



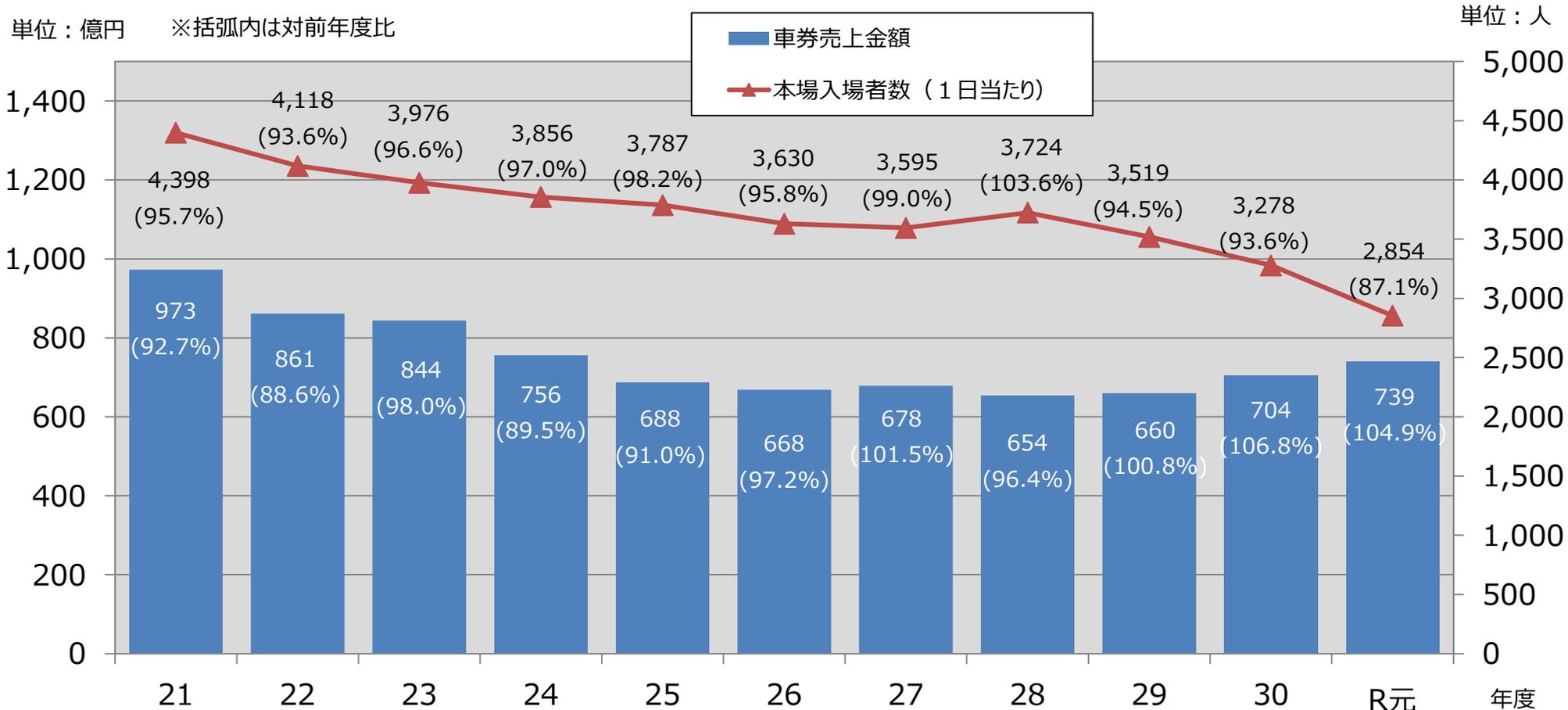
No.041
 Profile
Ibuki Yamaguchi
 山口 伊吹
 生年月日 1999年08月24日
 身長 161.2cm
 登録地 高松市
 種別 116組
 SNSアカウント

もっと知りた〜い
 星のガールズ



7. オートレースの売上・本場入場者数の推移

- オートレースの売上は平成3年度（約3,500億円）をピークに減少を続けてきたものの、平成29年度からは**3年連続の増加**。主な要因は、インターネット投票の増加によるもの。
- 1日当たりの本場入場者数は微減傾向であったが、令和元年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため2月27日から無観客での開催により更に減少幅が膨らんだ。

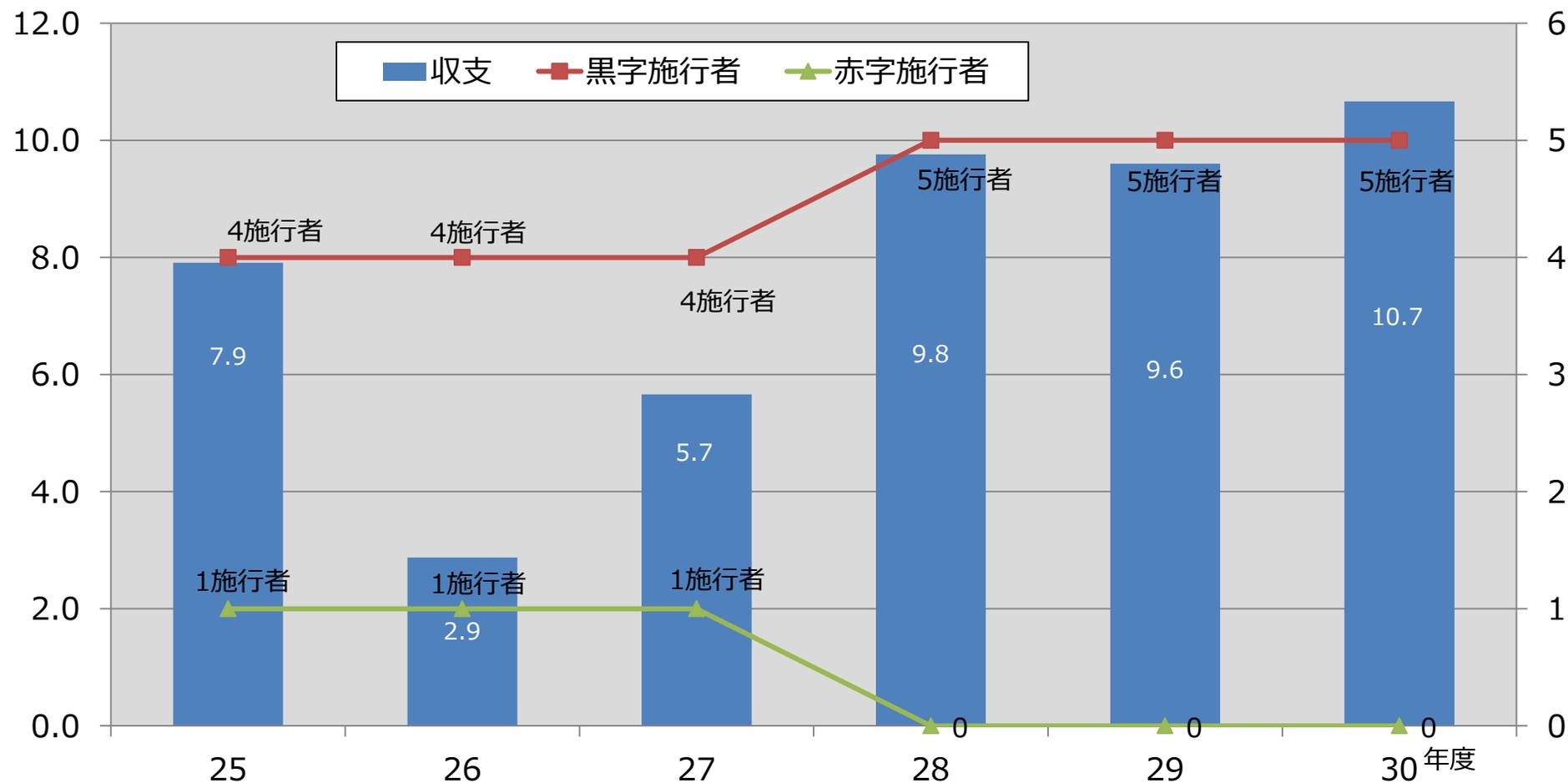


8. オートレース施行者の営業活動収支①

- 施行者全体の営業活動収支（収益の合計額）は、減少傾向にあったが、平成27年度から赤字であった飯塚場が民間事業者と収益保障型の包括委託契約を締結したことで増加に転じ、赤字施行者は平成30年度まで3年連続でゼロ。

単位：億円

単位：施行者数

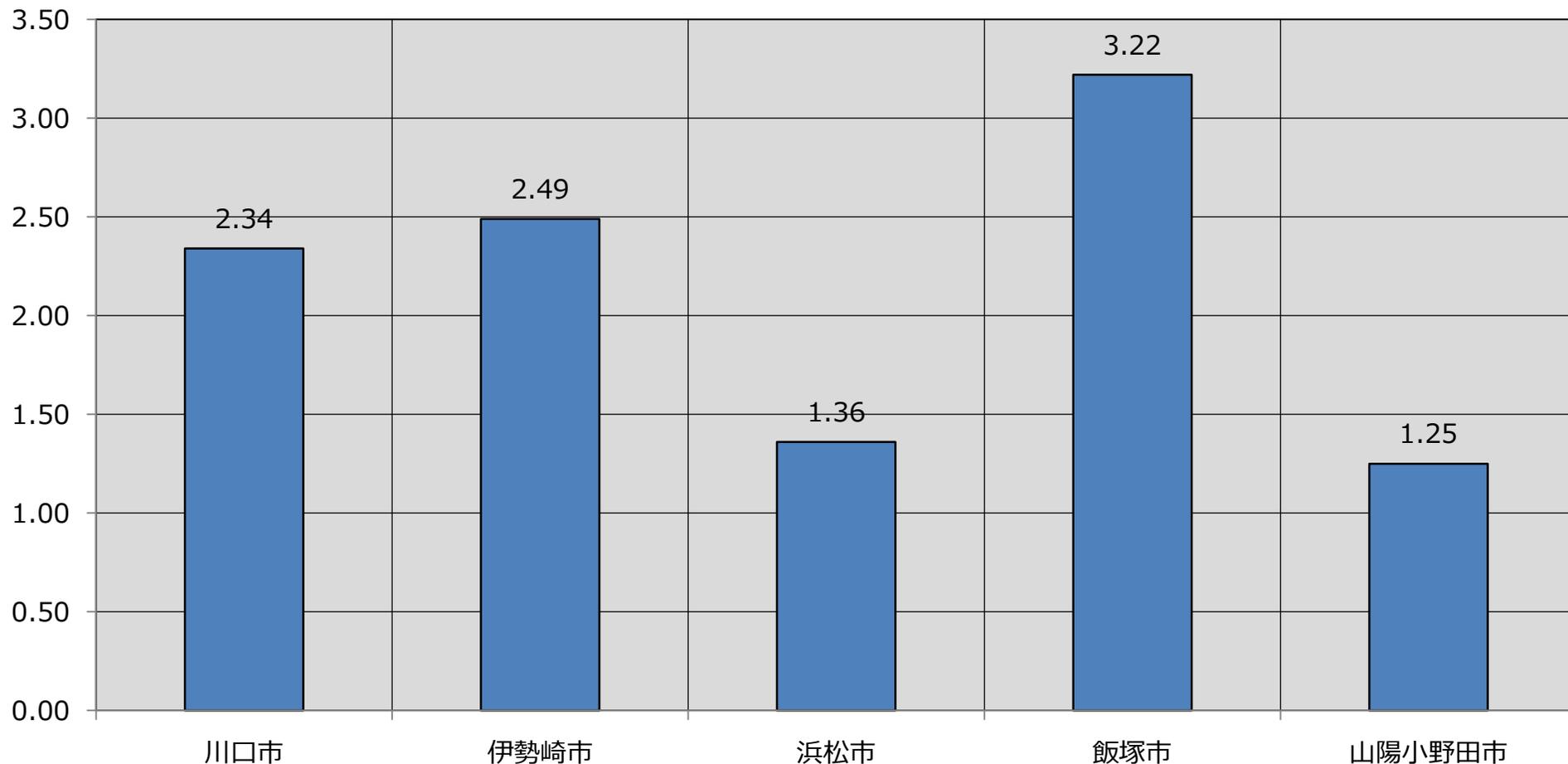


出所：各種資料を基に製造産業局車両室作成

8. オートレース施行者の営業活動収支②

- 平成30年度は3年連続で**5施行者全てが黒字**。
- 5施行者中、3施行者(浜松市、飯塚市、山陽小野田市)は民間事業者と収益保証型の包括委託契約を締結。

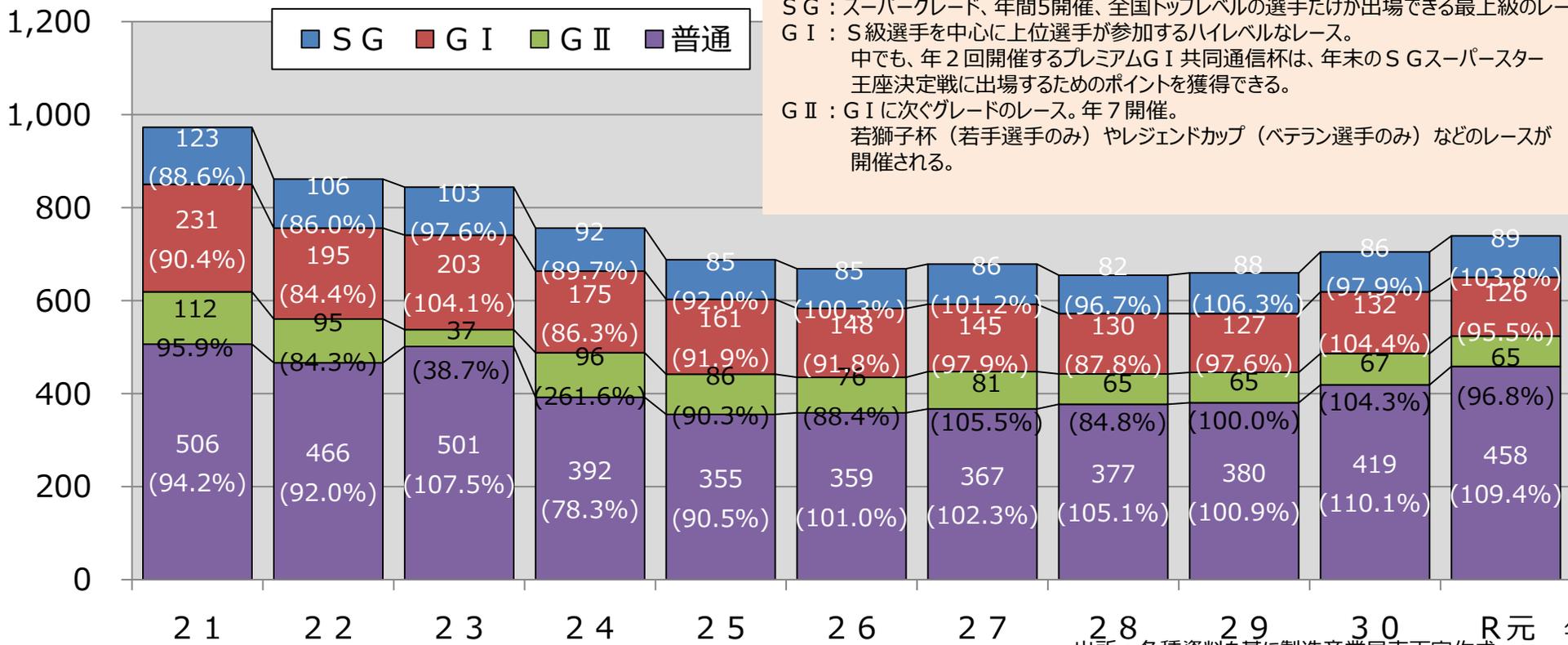
(単位：億円)



9. オートレースのグレード別売上構成の推移

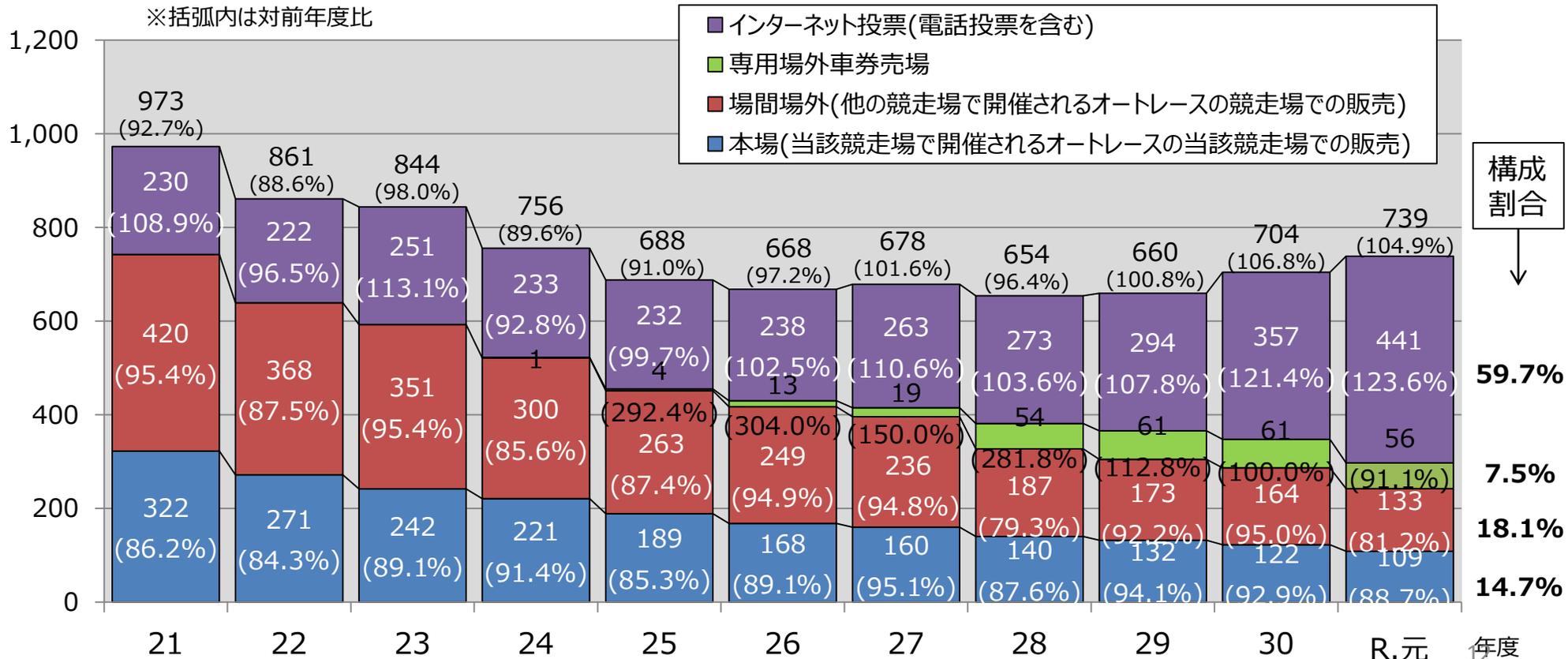
- グレードレース(※)について、S G、G I 及びG II のカテゴリー別に見れば、その売上は不安定であるが、グレードレース全体では微増傾向にある。しかし、令和元年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、3月のG I 及びG II が無観客開催となった影響で、売上が半減したことが減少に影響。
- 普通開催も微増傾向であったが、ミッドナイト開催増の影響もあり、ここ2年は約10%の大幅増加となった。

単位：億円 ※括弧内は対前年度比



10. オートレースの売上の販路別構成の推移

- 本場・場間場外及び専用場外の売上は減少傾向。今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため本年2月27日から車券発売をインターネット・電話投票に限定（本年5月31日まで）したことから減少幅が拡大。
- 一方、インターネット投票の売上は大幅な増加傾向が続いている。
- 2019年度の売上は739億円。対前年度比104.9%となった。
- 本年6月1日以降、同感染症予防対策の整った場外車券発売所等から順次発売。



1 1. ミッドナイトオートレースの売上推移について

- 売上げは好調で、**前年度比約 101.2%増の約 56 億円**。
- ミッドナイトオートレースは、飯塚場のみで実施されていたが、令和元年 8 月からは照明を新設した山陽場でも本格的に開始され、**年間開催日数は 44 日→65 日と大幅に増加**。
- 1日あたりの売上は平成30年度は約0.6億円であったが、**令和元年度は約 0.9 億円と増加**。
なお、競輪は1日あたりの売上は約1.6 億円となっている。

